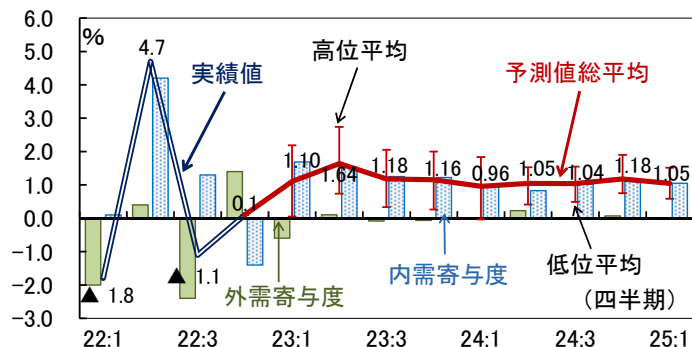


1 23年1~3月期の実質経済成長率(前期比年率)は1.10%、4~6月期は1.64%。

23年1~3月期の実質経済成長率(前期比年率)は1.10%と前月調査より下方修正された。4~6月期に1.64%まで上昇するが、その後、25年1~3月期まで1%程度で推移する。



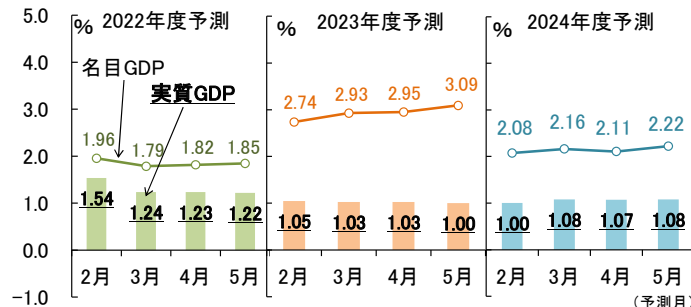
◆23年I期(1~3月期)実質GDP及び内訳の増減率(%)

実質GDP 前期比年率 (前期比)	民間最終 消費支出	民間企業 設備投資	財貨・サー ビスの輸出	財貨・サー ビスの輸入
1.10 (0.26)	0.39	0.06	▲1.76	▲1.02

(注) 内訳4項目は前期比。

2 実質経済成長率は22年度1.22%、23年度は1.00%、24年度は1.08%。

22年度の実質経済成長率は1.22%、23年度は1.00%、24年度は1.08%と、前月調査並みだった。22、23、24年度の名目成長率はそれぞれ1.85%、3.09%、2.22%と予測。



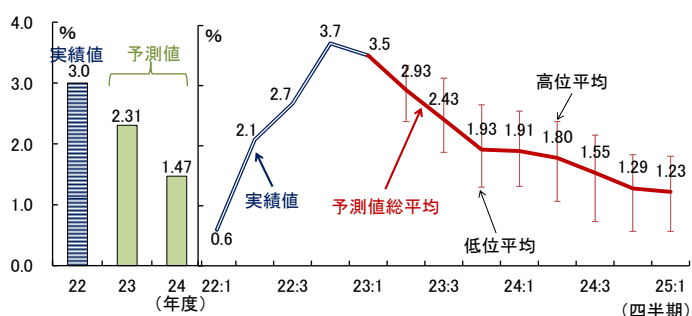
	2022年度	2023年度	2024年度
内需寄与度	1.7 (1.8/1.6)	1.1 (1.4/0.6)	1.0 (1.4/0.6)
うち民需	1.6 (1.7/1.5)	0.8 (1.3/0.4)	0.9 (1.2/0.5)
うち公需	0.1 (0.1/0.0)	0.2 (0.4/0.0)	0.2 (0.3/0.0)
外需寄与度	▲0.5 (▲0.4/▲0.6)	▲0.1 (0.3/▲0.3)	0.0 (0.3/▲0.3)
実質GDP成長率	1.22 (1.35/1.13)	1.00 (1.46/0.61)	1.08 (1.44/0.65)

(注1) 値の見方: 平均(高位平均/低位平均)

(注2) 1・2の寄与度は簡易計算によるもので厳密なものではない。

3 消費者物価上昇率(前年同期比)

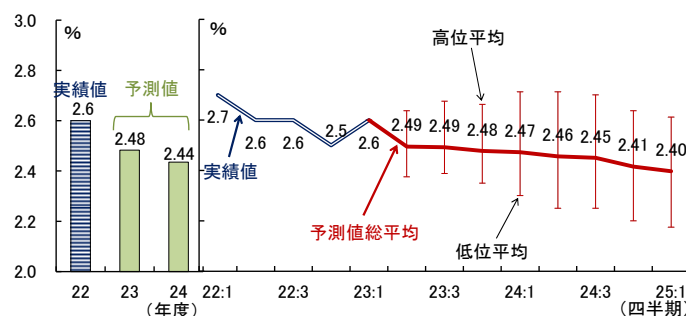
23年4~6月期は2.93%の予測。以後、25年1~3月期の1.23%まで徐々に低下する。23年度は2.31%、24年度は1.47%を見込む。両年度とも前月調査より上方修正された。



(注) 生鮮食品除く総合の前年同期比上昇率。

4 失業率

23年1~3月期の2.6%(実績)から4~6月期は2.49%に改善。以降、25年1~3月期まで低下が続く。



5 23年1～3月期の成長率(その他項目)

主要4項目以外の需要項目について、23年1～3月期の動きを尋ねた。「公的固定資本形成」「政府最終消費」「民間在庫変動」は上昇するという回答が多く、「公的在庫変動」は横ばい、「民間住宅投資」は低下するという回答が多かった。(回答数36、公的在庫変動は35)

(実質)	民間住宅投資	民間在庫変動	公的固定資本形成	政府最終消費	公的在庫変動
上昇	14	22	32	27	1
横ばい	4	11	1	5	33
低下	18	3	3	4	1
回答数	36	36	36	36	35

6 景気の転換点・・・20年5月が谷

20年5月の景気転換点(谷、政府見解)の次の景気転換点(山)はもう過ぎたかどうかを聞いた。(回答数36)

・はい(=過ぎたと思う人)・・・0名(前月調査:0名)

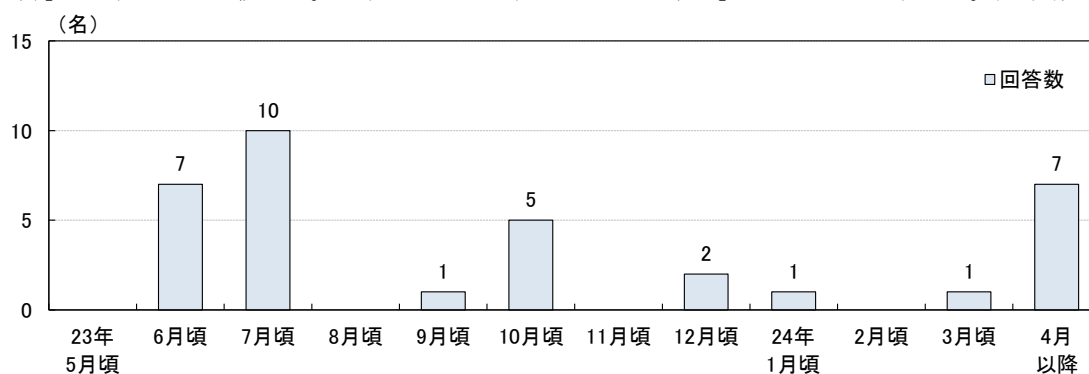
・いいえ(=過ぎていないと思う人)・・・36名(同35名)

今後1年以内に転換点(山)がくる確率の予測の平均・・・37.8%(同37.5%)

7 (特別調査)金融政策と金利見通し

(1) 次回のイールドカーブ・コントロール(YCC)の修正時期

日銀の次回のイールドカーブ・コントロール(YCC)の修正時期を尋ねた。「2023年7月頃」が10名と最も多く、「2023年6月頃」と「2024年4月以降」が7名でそれに続いた。25名のフォーキャスターが「23年内」に修正があると答えた。(回答数34)



(2) 具体的な修正内容

具体的な修正内容もあわせて聞いたところ、「長期金利の変動幅拡大」、「イールドカーブ・コントロールの撤廃」の回答が多かった。
[詳細は9ページ参照]

(3) 金利見通し

23、24年末の短期政策金利と長期金利の誘導目標の見通しを尋ねた。

短期の政策金利は、23年末、24年末とも現行並みの「▲0.1%以上 0.0%未満」が多かったが、24年末は13名が「0.0%以上 0.1%未満」と回答した。(回答数23年35、24年34)

長期金利の誘導目標は、23、24年末とも「0.0%以上 0.1%未満」の回答が多かった(23年末:21名、24年末:8名)。23年末までに「誘導目標の撤廃」と答えたフォーキャスターは「10名」と、前月調査の「18名」から減った。(回答数34)

長短金利の予想値分布 (%)		▲0.3未満	▲0.3～▲0.2	▲0.2～▲0.1	▲0.1～0.0	0.0～0.1	0.1～0.2	0.2～0.3	0.3～0.4	0.4～0.5	0.5～0.6	0.6～0.7	0.7～0.8	0.8～0.9	0.9～1.0	1.0以上
短期の政策金利	2023年末				33		2									
	2024年末				16	13	2	1	1		1					
長期金利の誘導目標	2023年末				21			2								1
	2024年末				8		1	1			2					1

長期金利誘導目標の撤廃	
2023年末	10
2024年末	21

(注1) 数値はフォーキャスター数(名)。

(注2) 予測値分布は金利のレンジを表す。例えば、「▲0.1～0.0」は「▲0.1%以上 0%未満」の意味。

(注3) 回答数が多いほど色が濃い。

8 (特別調査)米国金利

(1)政策金利見通し

23、24年末の米国の政策金利(FFレート・市場実勢値)の予想を尋ねた。回答が多かったのは、23年末は「5.0%以上 5.25%未満」、24年末は「4.0%以上 4.25%未満」だった。

(回答数 23年 36、24年 35)

米FFレートの 予想値分布(%)	1.0 未満	1.0 ～ 1.25	1.25 ～ 1.5	1.5 ～ 1.75	1.75 ～ 2.0	2.0 ～ 2.25	2.25 ～ 2.5	2.5 ～ 2.75	2.75 ～ 3.0	3.0 ～ 3.25	3.25 ～ 3.5	3.5 ～ 3.75	3.75 ～ 4.0	4.0 ～ 4.25	4.25 ～ 4.5	4.5 ～ 4.75	4.75 ～ 5.0	5.0 ～ 5.25	5.25 ～ 5.5	5.5 ～ 5.75	5.75 ～ 6.0	6.0 以上
2023年末																1	8	22	4	1		
2024年末								2	2	5	5	3	13	3	1				1			

(注1) 数値はフォーキャスター数(名)。

(注2) 予測値分布は金利のレンジを表す。例えば、「3.0～3.25」は「3.0%以上 3.25%未満」の意味。

(注3) 回答数が多いほど色が濃い。

(2)長期金利見通し

23年6月末～24年12月末の米国の長期金利(10年国債)の予想を尋ねた。23年6月末の中央値は「3.5%以上 3.6%未満」、12月末は「3.4%以上 3.5%未満」、24年6月末は「3.2%以上 3.4%未満」、12月末は「3.1%以上 3.2%未満」だった。

(回答数 23年 35、24年 34)

米国の長期金利 (10年国債)の 予想値分布(%)	2.5 未満	2.5 ～ 2.6	2.6 ～ 2.7	2.7 ～ 2.8	2.8 ～ 2.9	2.9 ～ 3.0	3.0 ～ 3.1	3.1 ～ 3.2	3.2 ～ 3.3	3.3 ～ 3.4	3.4 ～ 3.5	3.5 ～ 3.6	3.6 ～ 3.7	3.7 ～ 3.8	3.8 ～ 3.9	3.9 ～ 4.0	4.0 ～ 4.1	4.1 ～ 4.2	4.2 ～ 4.3	4.3 ～ 4.4	4.4 ～ 4.5	4.5 ～ 4.6	4.6 ～ 4.7	4.7 ～ 4.8	4.8 ～ 4.9	4.9 ～ 5.0	5.0 以上	
23年6月末							1	1		9	10	8	2	1	1	1												1
23年12月末					1	2	1	1	5	6	9	3	5	1										1				
24年6月末				1	3	1	4	5	3	8	5	1	1	1		1												
24年12月末		1	1	3	1	2	6	6	6	3	2		2	1														

(注1) 数値はフォーキャスター数(名)。

(注2) 予測値分布は金利のレンジを表す。例えば、「3.0～3.1」は「3.0%以上 3.1%未満」の意味。

(注3) 回答数が多いほど色が濃い。

9 (特別調査)中国製造業PMI

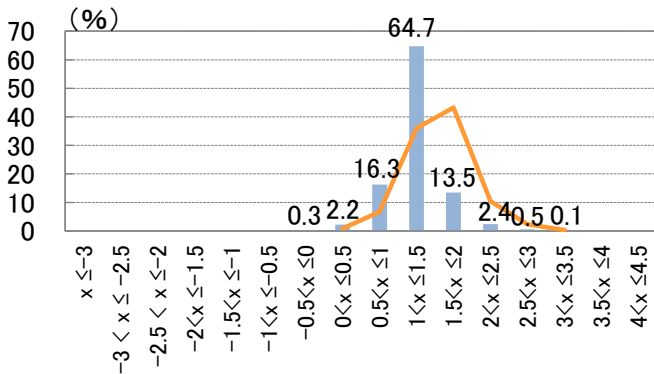
中国製造業PMI(国家統計局公表)に関して 50 超を「上昇」、50 で「横ばい」、50 未満を「下降」とし、見通しを尋ねた。23年4～6月期以降「上昇」が多い傾向が続く。(回答数 33)

	2023 II	2023 III	2023 IV	2024 I	2024 II	2024 III
上昇	22 (28)	23 (28)	20 (22)	19 (22)	17 (22)	19
横ばい	10 (5)	8 (5)	10 (9)	10 (8)	15 (11)	13
下降	1 (0)	2 (0)	3 (2)	4 (3)	1 (0)	1

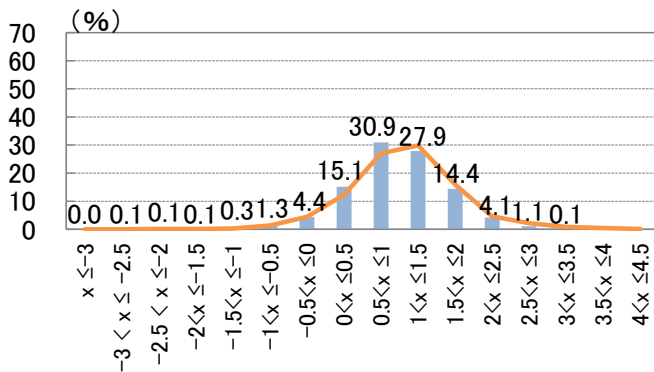
実質 GDP 増加率のコンセンサス予測の不確実性

-各レンジの平均確率-

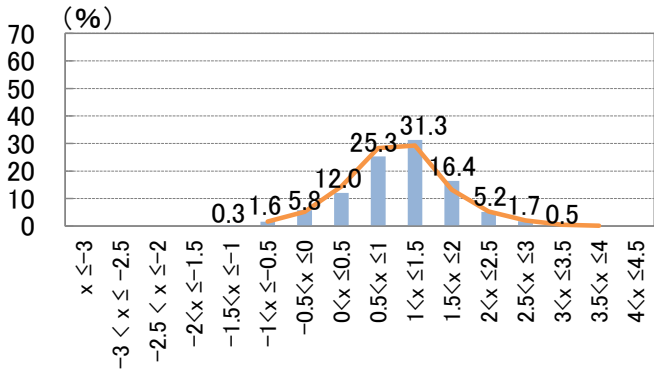
2022 年度



2023 年度



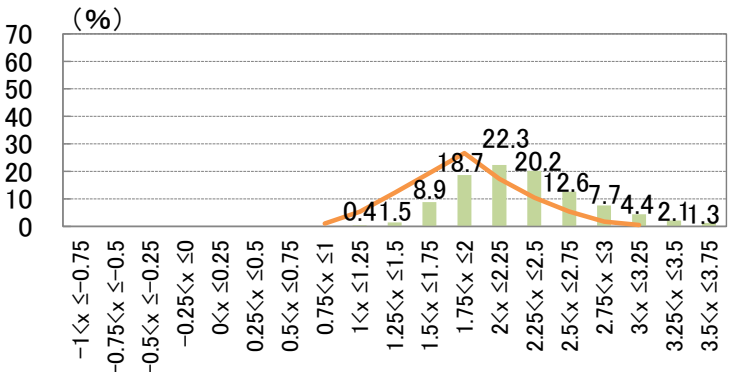
2024 年度



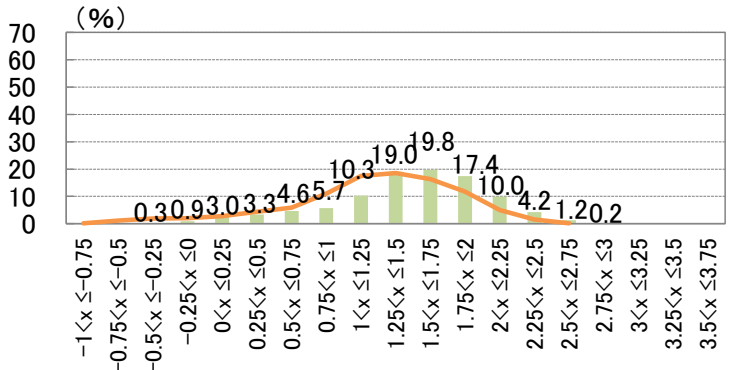
CPI(生鮮食品除く総合)騰落率のコンセンサス予測の不確実性

-各レンジの平均確率-

2023 年度



2024 年度



(注)各フォーキャスターが各レンジに付した確率の平均値。折れ線グラフは2月の予測値。数値は23年5月の予測値。

(参考) 海外主要3カ国・地域の実質GDP成長率予測(暦年、%)

年	米国	ユーロ圏	中国
2022年	2.1	3.5	3.0
2023年	1.14 (1.09)	0.59 (0.49)	5.31 (5.17)
2024年	0.88 (0.98)	1.03 (1.03)	4.80 (4.82)

(注)22年は実績値。()内は前月調査。

次回(2023年6月調査)の公表予定は6月15日頃

公益社団法人 日本経済研究センター
 ESPフォーキャスト調査事務局(高橋、浅野)
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 日本経済新聞社東京本社ビル11階
 電話 03-6256-7796,7710 FAX 03-6256-7925
 URL: <https://www.jcer.or.jp/esp-forecast-top>